

クマのあたりまえ

原作 / 魚住直子 (ポプラ社刊『クマのあたりまえ』より)

脚本 / 安田由美子 演出 / 松野方子 音楽 / 青木渉



素敵なあなたとの
素敵な出会い
生きることって
素晴らしい!

♪ワンダフル・ライブ ワンダフル・ライブ ♪きっと明日はワンダフル・デイ!

作品紹介

小学校高学年の道徳教材になっている魚住直子氏の短編集の「たいそう立派なリス」「クマのあたりまえ」「朝の花火」を、ひとつの物語にしました。それぞれの物語に登場する不器用で、けなげで、一生懸命に生きている動物たちが、「生きることの意味」や「まわりとの関わり合い」を知っていきます。4人の俳優がクマ、リス、ヘビ、花、石、木、DJ などさまざまなキャラクターを演じます。2025年5月初演!

企画にあたって

あたりまえの日常の中の、人とのつながりや小さな幸せにふれた時が、「自分の大切にしているもの」との出会いです。お芝居を観た後に誰かに少し優しくなれたり、「自分が大切にしたいことってなんだろう」、「生きるってなんだろう」と考えるきっかけになるメッセージが込められています。



劇団仲間

「人間をして、よりよく生かしめよ」劇団結成宣言(1953年)